

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水道工務課	担当課長名	西村 俊二
(※)第2期実施計画の事業名	汚水整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3071 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目1汚水整備の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	施設の耐震化、長寿命化
事業の対象 (誰を、何を)	重要な幹線(下水処理場に直結、緊急輸送路、主要防災施設に接続される管渠)
事業の手段・方法 (どのように)	管渠の改築・更新を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、下水道法第4条、下水道地震対策緊急整備事業(H18)、長寿命化支援制度(H20)

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		71,450		68,899		84,490		738,140		122.6%
主な内訳	工事請負費	47,690		11,914		71,541		715,000		600.5%
	委託料	23,760		56,985		12,949		18,000		22.7%
	補償費							5,140		-
人件費(人・千円)		0.67	5,226	0.66	5,016	0.66	4,884	0.83	6,308	100.0%
内訳	正職員	0.67	5,226	0.66	5,016	0.66	4,884	0.83	6,308	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		76,676		73,915		89,374		744,448		120.9%
財源	国・府支出金	33,000		27,600		35,000		333,400		126.8%
	地方債	22,900		20,760		36,100		404,700		173.9%
	その他()	1,172		822		395		71		48.1%
	うち受益者負担 B	1,172		822		395		71		48.1%
	一般財源 C	19,604		24,733		17,879		6,277		72.3%
一般財源比率 C÷A		25.6%		33.5%		20.0%		0.8%		59.8%
受益者負担率 B÷A		1.5%		1.1%		0.4%		0.0%		39.7%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		整備完了のため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	管路の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市で実施すべき事業。(下水道法第3条第1項)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	普及率	%	100	100	100	100	100
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	汚水管の改築更新	km	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	汚水管の耐震化	km	0.0	0.0	0.06	0.6	1.4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				目標どおり普及率は100%を達成し、改築更新事業に移行できたため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			普及率が100%に達し、改築更新事業に移行したため				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、施設の老朽化及び耐震化の対策を行っていく	
現在抱える課題とその対策	課 題	社会資本整備総合交付金について、要望額に対する内示額が近年減少傾向
	対 策	事業の重点化を図るとともに、要望活動を実施する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成26年度に普及率100%を達成した。今後は、老朽管の更新と耐震化を汚水整備事業として継続していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水道工務課	担当課長名	西村 俊二
(※)第2期実施計画の事業名	雨水整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3072 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目2雨水整備の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	浸水被害の軽減及び分流入の推進
事業の対象 (誰を、何を)	過去の浸水区域及び災害区域
事業の手段・方法 (どのように)	雨水管の整備を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、下水道法第4条

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		156,491		334,370		708,116		513,798		211.8%
主な内訳	工事請負費	122,181		282,176		677,398		436,498		240.1%
	委託料	8,100		27,000		20,844		27,500		77.2%
	補償費	26,210		25,194		9,874		49,800		39.2%
人件費(人・千円)		2.48	19,344	2.44	18,544	2.44	18,056	3.07	23,332	100.0%
内訳	正職員	2.48	19,344	2.44	18,544	2.44	18,056	3.07	23,332	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		175,835		352,914		726,172		537,130		205.8%
財源	国・府支出金	54,200		148,400		340,243		208,000		229.3%
	地方債	100,600		171,640		367,400		302,200		214.1%
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	21,035		32,874		18,529		26,930		56.4%
一般財源比率 C÷A		12.0%		9.3%		2.6%		5.0%		27.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	管路の調査・設計業務については、専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市で実施すべき事業。(下水道法第3条第1項)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	雨水整備により浸水区域の解消率	%	28.3	28.6	28.7	28.9	30.5
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	全体計画雨水管延長206.6km	km	58	59	59.2	59.8	63
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				社会資本整備総合交付金が要望どおりに配分されないため、計画どおりに進んでいない。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			浸水箇所の解消を図るため、雨水管渠整備を実施し、整備率が目標値に向け順調に推移しているが、浸水シミュレーションの結果より、効率的な浸水箇所の軽減を図る必要がある。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	浸水対策事業は、継続して実施していくが、今後シミュレーションの結果を基に対策を検討する。	
現在抱える課題と対策	課 題	社会資本整備総合交付金について、要望額に対する内示額が近年減少傾向。
	対 策	事業の重点化を図るとともに、要望活動を実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は順調に推移している。浸水被害を軽減するため、国の交付金を最大限に活用し、今後も事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 下水処理場	担当課長名	吉村 寛
(※)第2期実施計画の事業名	下水処理場施設整備事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3073 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目3下水処理機能の充実と資源の有効利用	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	下水処理施設の更新により、円滑な下水処理機能を維持する。(昭和43年度供用開始)
事業の対象 (誰を、何を)	下水処理施設
事業の手段・方法 (どのように)	更新計画に従い機能更新事業を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	下水道法第3条

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27
事業費(千円)		1,020,589	122,508	427,905	676,020	349.3%
主な内訳	工事請負費	1,002,359	88,680	399,480	645,000	450.5%
	委託料	17,820	33,480	28,080	30,000	83.9%
人件費(人・千円)		2.40 18,720	2.02 15,352	2.16 15,984	2.18 16,568	106.9%
内訳	正職員	0	0	0	0	-
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0	0	0	0	-
支出合計 A		1,039,309	137,860	443,889	692,588	322.0%
財源	国・府支出金	553,600	65,020	231,000	330,000	355.3%
	地方債	282,900	49,200	196,200	345,000	398.8%
	その他()	59,375				-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	143,434	23,640	16,689	17,588	70.6%
一般財源比率 C÷A		13.8%	17.1%	3.8%	2.5%	21.9%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	下水処理施設の調査・設計業務について専門的知識や専門的機器が必要なため、直営に比べて、コスト削減と効率化が図れる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	施設機能更新及び整備については、国の交付金制度、下水道長寿命化支援制度等を活用しており、池田市職員が直接、大阪府に申請等の調整を行うため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	計画的な機能更新の実施	%	100	100	100	100	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		概ね当初の予定通りで、汚泥搬出施設設備更新工事(2ヵ年工事の2ヵ年目)で、旧汚泥処理施設の撤去後のスペースに汚泥搬出施設を設置した。また、老朽化した管理棟の昇降機、沈砂池施設の更新工事が完了したことによる。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		処理場施設の機能更新、整備事業については、国からの交付金を最大限に活用しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	経費削減、事業費の平準化を盛り込んだ長期的な更新計画の実施中であるため。	
現在抱える課題とその対策	課 題	処理機能維持の為、老朽施設の更新・長寿命化や大規模災害に備えた耐震化に多額の費用が必要
	対 策	交付金制度、長寿命化支援制度等を活用し費用の確保に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は、順調に推移している。処理場施設の更新・長寿命化や耐震化は、交付金を最大限に活用し、今後も事業を推進していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越 英樹
(※)第2期実施計画の事業名	公共下水道事業経営健全化事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3074 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第7節下水道事業の充実	
	項目	項目4事業の持続性の確保	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (公共下水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	財政の健全化を図る
事業の対象 (誰を、何を)	公共下水道事業
事業の手段・方法 (どのように)	国費の有効活用、経費の削減など効率的な経営に努める
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)										-
主な 内 訳										-
										-
人 件 費 (人・千円)		0.20	1,560	0.20	1,520	0.20	1,480	0.35	2,660	100.0%
内 訳	正職員	0.20	1,560	0.20	1,520	0.20	1,480	0.35	2,660	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		1,560		1,520		1,480		2,660		97.4%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他 ()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,560		1,520		1,480		2,660		97.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、民間委託範囲の拡大についての検討は可能である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	黒字額(当年度純利益)	千円	64,608	37,814	106,509	-12,000	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		平成29年度は赤字を予測しているものの、平成26年度からの赤字予想が黒字に転換し、3年連続の黒字を達成したため						
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成26年1月に下水道使用料を改定したため、平成26年度から3年連続の黒字決算となり順調に推移している。平成29年度の赤字予測についても、従来予測から減少している。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成26年1月に下水道使用料の改定 平均改定率 20.5%	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き業務の効率化に努める。	
現在抱える課題と対策	課 題	下水道施設の耐震、更新需要の増。
	対 策	アセットマネジメントの手法を導入。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	3年連続で黒字決算となっているが、有収水量の減少や事業費の増加等厳しい経営状況の中、アセットマネジメントの導入等により、財政基盤の強化に向け、今後も効率的な事業を継続していく。	